

## 2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 1 月 21 日作成)

小委員会名	湿気小委員会	主 査 名：小椋大輔 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (熱環境運営委員会)	委員長名：持田灯 主 査 名：永田明寛
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2023 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>これまでの湿気小委員会における研究活動の成果を継承、また近年新たに生じた問題の解決へ向けて、研究の進展を図る。研究動向を把握、社会情勢に応じた学術的立場を堅持した研究課題の提起、若手研究者への啓発活動を推進する。</p> <p>初年度：各 WG の活動支援ならびに結果公表の支援、熱シンポジウムの準備。 2 年度：各 WG の活動支援ならびに熱シンポジウムのセッション実施 (の予定だったが、シンポジウムは 2021 年度に延期)。 3 年度：熱シンポジウムのセッション企画・実施ならびに各 WG の活動支援。 4 年度：熱シンポジウムの総括および各 WG の活動支援、研究成果の公表・普及啓発。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：なし</p> <p>主査：小椋大輔 (京都大学) 幹事：伊庭千恵美 (京都大学) 委員：青木哲 (岐阜工業高等専門学校)、安福勝 (近畿大学)、岩前篤 (近畿大学)、宇野野子 (武庫川女子大学)、尾崎明仁 (九州大学)、岸本嘉彦 (大阪市立大学)、権藤尚 (鹿島建設)、齋藤宏昭 (足利大学)、佐藤真奈美 (大阪工業大学)、高田暁 (神戸大学)、永井久也 (三重大学)、本間義規 (宮城学院女子大学)、松岡大介 (ものづくり大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>①文化財の保存と活用のための熱湿気環境解の検討 WG：文化財保護の温湿度環境の整理を行う。</p> <p>②湿気環境と健康 WG：湿度が人体健康性に与える影響を明確にする。</p> <p>④地域特性に応じた吸放湿性能評価 WG：吸放湿材の評価手法や予測手法の構築を行う。</p> <p>③建築全体の温湿度環境制御 WG：建築全体の熱環境性能の評価手法について検討する。</p> <p>⑤蒸暑地域における住宅の湿害調査 WG：蒸暑地域の住宅の湿害の実態を明らかにする。</p>	
2020 年度予算	170,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認 企画	
大会研究集会	<del>1. (名称)</del> 参加者数 <del>名</del> <del>(資料名)</del>
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた 成果との関係)	<p>1. 5つの WG の活動を支援した。</p> <p>2. 次年度の熱シンポジウムで担当するセッションについて、オンライン会議により再検討した。</p>
委員会活動の問題点 ・課題	<p>1. 個々の WG 活動は行われているが、湿気小委員会としての開催が少ない。</p> <p>2.</p>

## 2020 年度 小委員会活動 自己評価

### (中間年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A	B	C	D
<p style="text-align: center;">総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2020 年度は COVID-19 の影響により、特に現地の視察を伴う WG 活動が例年よりも実施できなかった。</li> <li>・ 次年度の熱シンポジウムでの発表に向け、WG 間での意見交換など改めて準備を進める必要がある。</li> <li>・ 熱環境運営委員会の熱環境研究交流会へ参加し、他の小委員会との交流を行った。</li> <li>・ オンラインで会議を開催することができるようになり、小委員会の出席率が向上した。</li> <li>・</li> </ul>			

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。